

# 行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 22 年 8 月 2 日 提出]

No.	28	実施済み						
基本方針	1 財政の健全化					担当課名	健康保険課	
重点項目	2 歳出削減に向けた主要な取り組み (6)他会計繰出金の抑制 イ 診療所							
取組項目	27 入院部門の廃止の検討							
経過・現状 (H17.4.1現在)	・離島医療圏組合本部より、3離島医療圏組合病院の見直し(有川、奈良尾病院の無床診療所化)が求められている中で、町内における医療提供体制のあり方について、協議検討した結果を整理した。							
推進スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 21 年度	
	検討							
実績評価	A	A	A	A	A	達成年次	平成 22 年度 (達成見込)	
	計画どおり	計画どおり	計画どおり	計画どおり	計画どおり			
行動概要	目標	診療所の入院部門の廃止						
	期待される効果	・診療所の入院部門を廃止することで、歳出の大幅な削減が図れる。また、一次医療、二次医療の枠組みを明確にすることで、必要な診療体制が確保される。						
	必要性問題点	・離島医療圏組合及び病院との調整 ・職員の雇用及び嘱託職員の雇用 ・町民への説明						
	対象	診療所及び病院(実質対象は町民)						
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計( 69,000 千円)	
		17年度 (実績)	・離島医療圏組合本部より、3離島医療圏組合病院の見直し(有川、奈良尾病院の無床診療所化)が求められている中で、町内における医療提供体制のあり方について、病院診療所事務長会議を開催し、協議検討した。(平成21年度までは現状維持)				目標数値	
							効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)
	18年度 (実績)	・7月27日診療所運営協議会で行革大綱に入院部門の廃止が取り上げられていることを説明した。また、「町医療体制のあり方検討委員会」を設置することを決定した。				目標数値		
							効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)
	19年度 (実績)	・「県立及び離島医療圏組合病院あり方検討懇話会」の答申が平成19年7月に出され、「町医療体制のあり方検討委員会」を平成19年7月から20年3月までの間に7回開催し、3月末に報告書が提出された。(内容は病院・診療所機能の集約化等)(今後の取組) ・あり方委員会の答申を受け、離島医療圏病院の機能集約及び診療所の入院部門の廃止に向けた町としての実施計画を策定していく。				目標数値	人件費の減 新魚目診療所 10,000千円 若松診療所 13,000千円	
						効果	歳入( 千円) 歳出( 23,000 千円)	
20年度 (実績)	・「町医療体制のあり方検討委員会」からの報告書について、町診療所運営協議会で説明し、現在の診療所の医師の勤務状況等についても説明を行った。 ・「町医療体制再編実施計画」策定のため取り組んでいる。				目標数値	人件費の減 新魚目診療所 10,000千円 若松診療所 13,000千円		
						効果	歳入( 千円) 歳出( 23,000 千円)	
21年度 (実績)	・医師・看護師等の過酷な勤務環境を改善するために、入院部門を二次医療を担う基幹病院に集約しようと平成21年6月に「新上五島町医療再編実施計画」を策定し、町内14ヶ所でその住民説明会を開催した。 ・計画に基づき長崎県病院企業団は、有川病院を平成21年11月1日から上五島病院の附属診療所として無床化し、当地域の医療提供体制の強化を図った。 ・平成22年10月1日から若松・新魚目国民健康保険診療所を無床化することを議会で可決した。				目標数値	人件費の減 新魚目診療所 10,000千円 若松診療所 13,000千円		
						効果	歳入( 千円) 歳出( 23,000 千円)	
関係例規等	名称	新上五島町保健医療プラン				改正時期		